令和7年度
留学生が学び・住み・就職して良しの熊本県版・国際化推進事業

「教育指導サポート業務（多言語学習アプリ運用）」業務
【成果物】

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、≪一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会≫が実施した令和7年度「専修学校の国際化推進事業」の成果をとりまとめたものです。

令和8年3月2日

一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会

R7年度 専修学校の国際化推進事業
「教育指導サポート業務（多言語学習アプリ運用）」
実施報告書

1. 概要

(1)件名

令和7年度 国際化推進事業【教育指導サポート】業務

(2)請負期間

令和7年7月1日 ～ 令和8年2月20日

(3)目的

専修学校の国際化推進事業において、留学生が「学び・住み・就職して良し」の熊本を目指し、戦略的な留学生受入れおよび国内定着を見据えた教育指導サポートを行うことを目的とします。

2. 業務実施内容

① 留学生向け日本語能力強化策（多言語学習アプリ運用）

- **利用期間:**

  令和7年7月～令和8年1月

- **提供アカウント数:**

  県内専門学校留学生向け 200アカウント

  アカウント割当内訳

  熊本YMCA学院　：　60
  熊本工業専門学校　：　58
  九州中央リハビリテーション学院　：　22
  イデアITカレッジ阿蘇　：　20
  熊本外語専門学校　：　15
  九州測量専門学校　：　13
  専門学校湖東カレッジ　：　12

- **提供環境：**

  スマートフォン版（iOS / Android）
  Web版（PCブラウザ）

- **学習管理者向アプリ：** Web版（PCブラウザ）にて提供

- **アプリURL**

  学習アプリ

スマートフォン版ダウンロードURL

Android向け　https://x.gd/CKf1Z

Apple向け　https://x.gd/x3HXR

Web版（PCブラウザ）URL：https://web.learntowork.app/

学習管理者向けアプリ

Web版（PCブラウザ）URL: https://admin.learntowork.app/

- **対応言語:**

  日本語、ミャンマー語、モンゴル語、中国語（繁体字）、英語、中国語（中文）、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語

② 提供コンテンツ

- **日本語学習コンテンツ:**

  日本語能力試験（JLPT）N5～N1 レベル対応（全5,500問）

- **日本の生活・就職マナー学習コンテンツ:**

  M5～M1 レベル対応（全430問）

3. アプリの概要

「Learn To Work」は、日本語学習および日本のビジネスマナーを学ぶためのオンライン学習プラットフォームです。本アプリを通じて、学習者はスマートフォンまたはPCでいつでも学習が可能となります。

アプリの機能

- 多言語対応の学習コンテンツ（日本語・英語・中国語（中文）・ベトナム語・インドネシア語・ネパール語・モンゴル語・ミャンマー語・中国語（繁体字））
- 日本語能力試験（JLPT）対策問題
- 日本の生活・就職マナーに関する学習コンテンツ
- 学習進捗の管理機能（管理者向け）

4. 画面イメージ

以下に、本アプリの主要画面を添付します。

- トップ画面（学習者用アプリのホーム画面）
- 日本語学習コンテンツの画面
- 日本の生活・就職マナー学習コンテンツの画面

- 学習進捗管理画面（管理者向け）

画面キャプチャは「別添資料①：アプリ画面キャプチャ」として提供いたします。

5. 利用状況報告

本年度のアプリ利用状況は以下のとおりです。

アプリ全体

学習回数（累計）	学習時間（累計）
874	29:08:28

※補足説明
本年度は200アカウントを発行し、各校へ提供しました。うち、実際に利用登録が行われたアカウントは102件でした。登録数については、各校における導入時期や活用方針、利用対象者の選定状況等により差が生じています。また、本アプリはアカウントの付け替えが可能な運用形態であるため、発行数と登録数が一致しない状況となっています。

学習カテゴリー別

カテゴリー	学習回数（累計）	学習時間（累計）
日本語　N5	138	03:28:09
日本語　N4	278	10:22:05
日本語　N3	116	03:28:25
日本語　N2	318	11:15:21
日本語　N1	16	00:27:07
生活マナー	6	00:06:14
ビジネスマナー	2	00:01:07

学習は短時間・高頻度で行われる傾向が見られ、隙間時間を活用した継続的な利用形態がうかがえます。学習時間では日本語N2が最も多く、次いでN4、N3の順となっており、中級レベルを中心とした活用が見られました。これは在籍する留学生の日本語到達段階や、就職・進学を見据えた学習意識が一定程度反映された結果と考えられます。一方で、生活マナーやビジネスマナーといった、日本での生活・就職に直結する学習分野の利用は比較的少ない状況です。今後は、これらの分野の活用をより一層促進していくことが課題であると考えられます。

6. 学習者アンケート結果

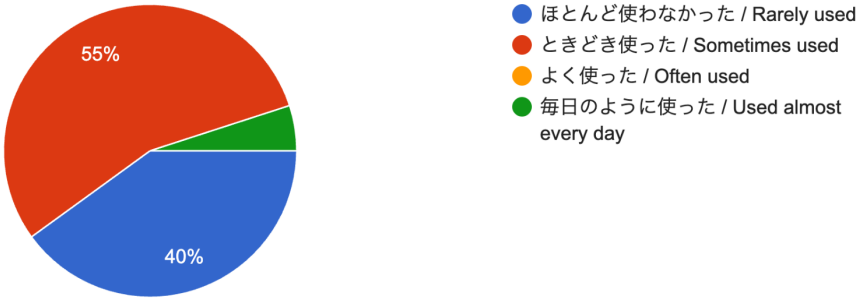
①アンケート実施概要

- 実施時期：令和7年9月から令和8年1月
- 回答数：40

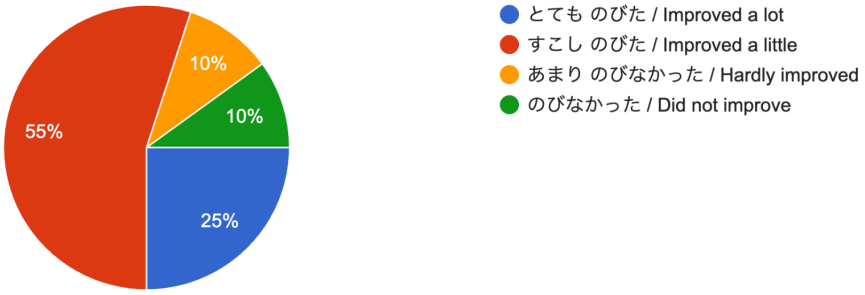
- 実施方法：Googleフォーム
- 回答対象：本事業のアプリ利用者

②集計結果

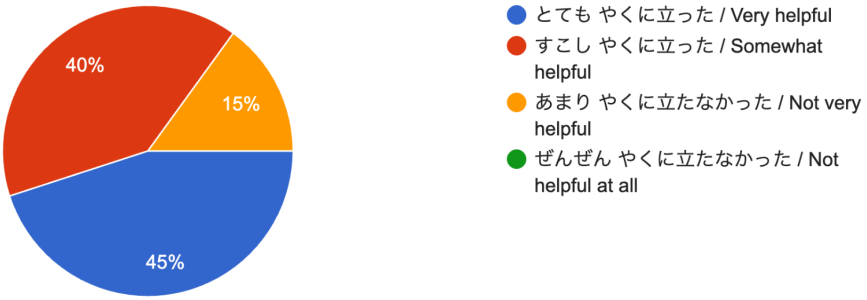
➢ このアプリをどのくらい使いましたか？



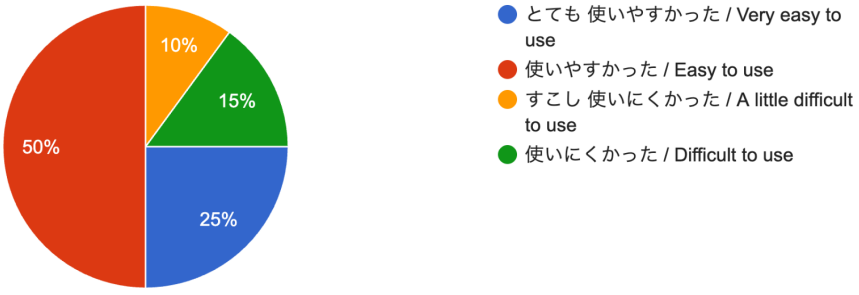
➢ このアプリで勉強して、日本語の力は伸びましたか？



➢ JLPT（日本語能力試験）の勉強に、このアプリは役に立ちましたか？



➢ このアプリの使いやすさはどうでしたか？



➢ **自由記述**

良かった点

わかりやすい
使いやすい
使い安い
Very good app
操作が簡単で学習しやすい

改善要望・意見

文法をもっと強化したい
Boring（内容が単調）

③アンケートまとめ

本アンケートは利用者40名から回答を得ました。利用頻度については「ときどき使った」が最も多く、一定期間にわたり継続的に活用されていたことが確認できました。

日本語能力の向上については、「すこしのびた」「とてものびた」と回答した学習者が全体の約8割を占めており、多くの利用者が学習効果を実感している結果となりました。特に、JLPT対策としての有用性については「とても役に立った」「すこし役に立った」との回答が大半を占めており、試験対策支援として一定の成果を上げていることがうかがえます。

また、操作性についても「使いやすい」との回答が多数を占め、スマートフォン等を活用した日常的な学習ツールとして概ね良好な評価を得ました。

自由記述では「わかりやすい」「使いやすい」といった肯定的意見が見られる一方、文法学習の強化などの改善要望も挙げられました。

以上より、本アプリは日本語能力向上およびJLPT対策に資する学習支援ツールとして一定の成果を上げていると考えられます。今後は利用促進および機能改善を図ることで、さらなる学習効果の向上が期待されます。

7. 総合分析（利用状況およびアンケート結果を踏まえた分析）

利用状況では、学習は短時間・高頻度で行われる傾向が見られ、特に日本語N2、N4、N3の順で学習時間が多く、中級レベルを中心とした活用が確認されました。これは、在籍する留学生の日本語到達段階や、JLPT合格を目標とした学習ニーズを反映しているものと考えられます。

アンケート結果においても、日本語能力について「向上した」と回答した学習者が約8割を占め、さらにJLPT対策として「役に立った」との回答が多数を占めました。これらの結果は、利用データにおいて中級レベルの学習が活発であったことと整合しており、本アプリが試験対策支援として一定の効果を発揮していることを裏付けるものといえます。

一方で、生活マナー・ビジネスマナー分野の利用は比較的少なく、アンケート自由記述においても主に日本語学習面への言及が中心でした。このことから、現状では試験対策用途での活用が主となっていることがうかがえます。
以上より、本事業は日本語能力向上およびJLPT対策支援において一定の成果を上げていると評価できます。今後は、生活・就職に直結する学習分野の活用促進を図ることで、より実践的な教育支援へと発展させていくことが課題であると考えられます。

8. 納品物

- 学習者向けアプリ（スマートフォン版・Web版）
- 学習管理者向けアプリ（Web版）
- 200アカウントの発行
- 利用状況集計データ
- アンケート結果集計資料
- 本実施報告書

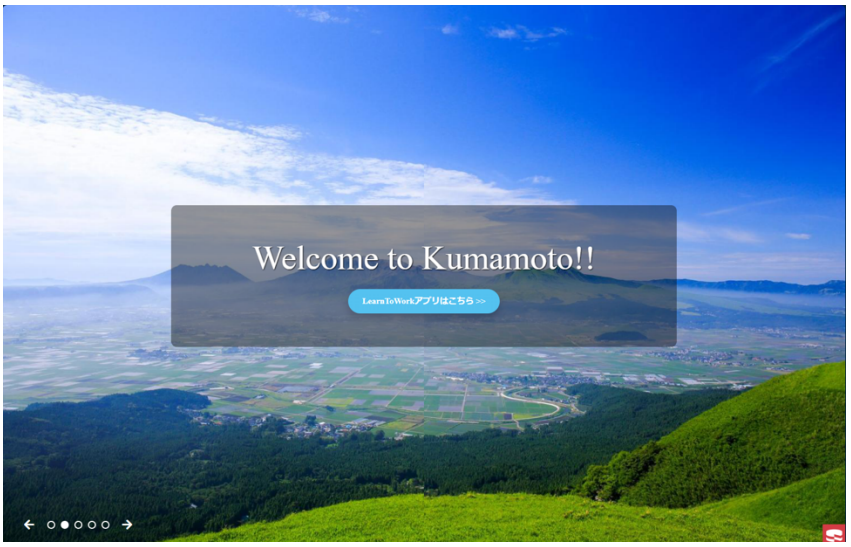
9. まとめ

本事業を通じて、留学生の日本語能力向上およびJLPT対策支援に寄与するとともに、県内7校に対し継続的な学習支援環境を提供することができました。

以上

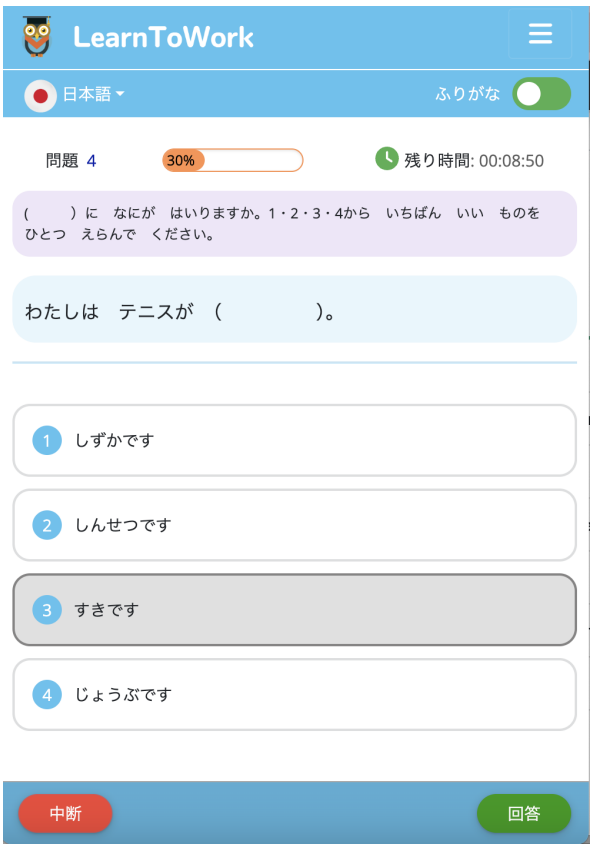
別添資料①：アプリ画面キャプチャ

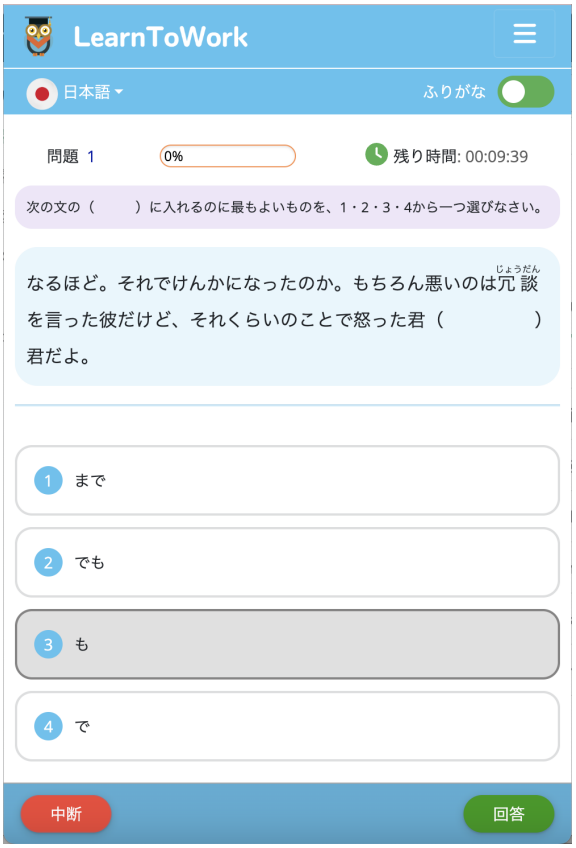
学習アプリトップ画面





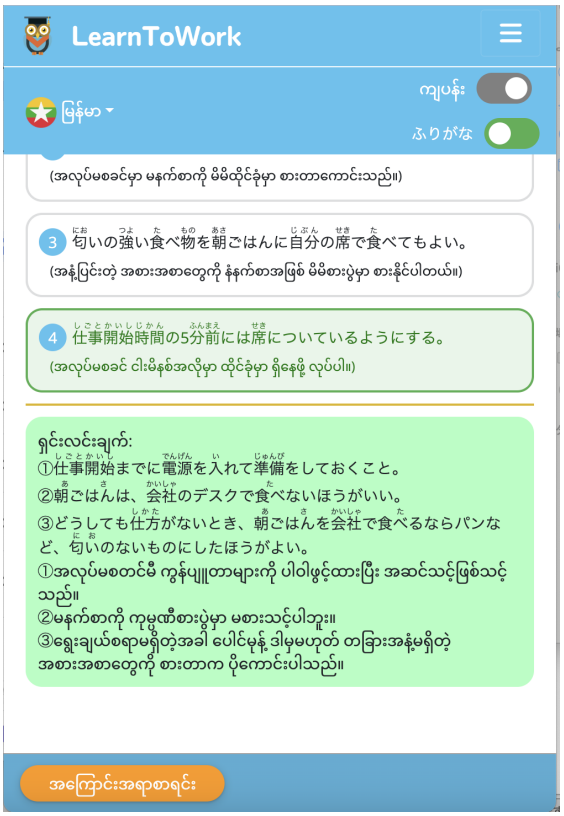
日本語学習コンテンツ





日本の生活・マナー学習コンテンツ





学習進捗管理画面（管理者向け）

